

令和6年3月1日

(一社) 岩手県獣医師会会長 様

全農岩手県本部家畜市場課

**安心・安全な食肉を提供するために  
(牛肉への異物混入防止のお願い)**

日頃より本会家畜市場の運営にご協力・ご指導賜りまして誠に有難うございます。

昨年10月と今年1月に、「芝浦と場」において岩手県産素牛の肥育牛の臍部から異物(縫合糸・ネット)が発見され、東京食肉市場牛肉営業部より報告と再発防止策を講じるよう要望がありました。

つきましては臍ヘルニア手術に使用した**縫合糸・ネット等**がと畜するまで残留する可能性がある場合は、市場上場・と場出荷の際に生産者が申告できるように、施術した獣医師は文書等により生産者へ通知するようお願いします。

**残留が確認された出荷牛の履歴**

(事例1) 2022.03.10 県南和牛市場において売買(臍ヘルニア手術の申告あり)。

2022.03.10～県内肥育農家において肥育

2023.10.11 と畜の際、**臍部より糸状と布状の異物発見。**

(事例2) 2022.05.18 中央和牛市場において売買(臍ヘルニア手術の申告あり)。

2022.05.20～県外肥育農家において肥育

2024.01.11 と畜の際、**臍部より糸状の異物発見。**

- 今回2事例とも、繁殖農家は手術歴を子牛市場で申告のうえ販売されていましたが、肥育農家から出荷する際に申告されず出荷されたものです。
- これは肥育出荷の際、縫合糸は吸収されずに残留していたのにもかかわらず、手術部位は完治し外見から分からなくなっていたためです。
- 係る事案の再発を防止し食肉の安心と安全のために会員獣医師に周知徹底いただくようよろしくお願い致します。

**【お問合せ先】**

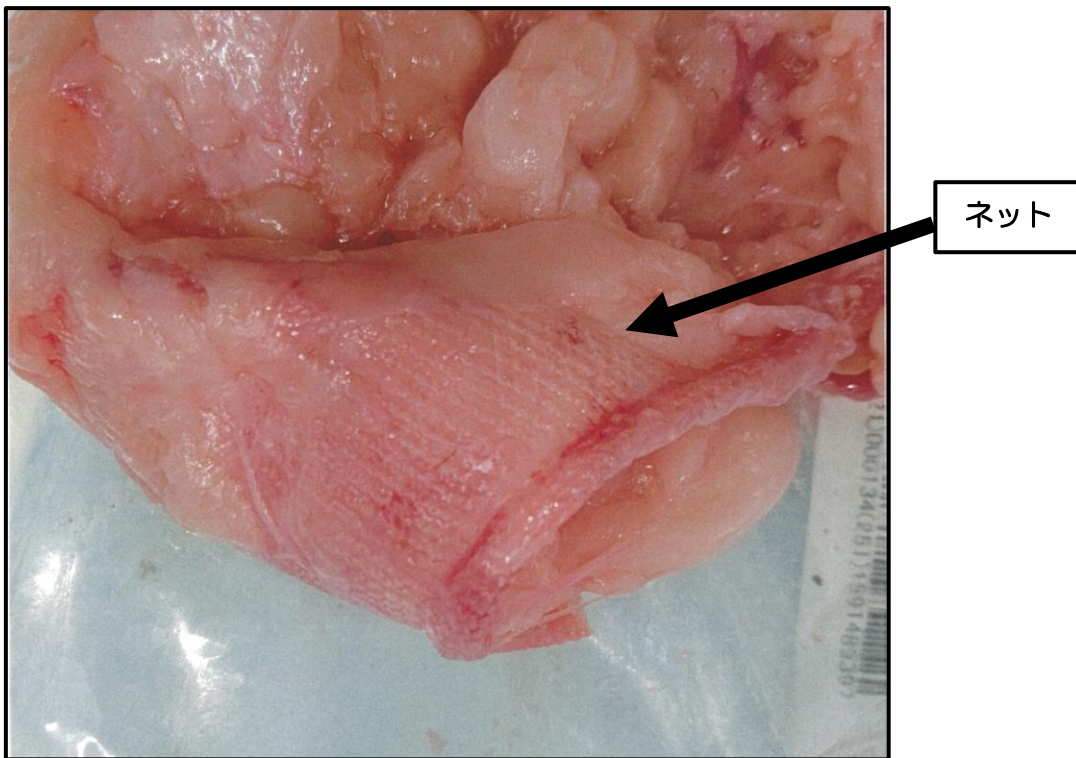
全農岩手中央家畜市場

電話：岩手県岩手郡雫石町七ツ森 20-1

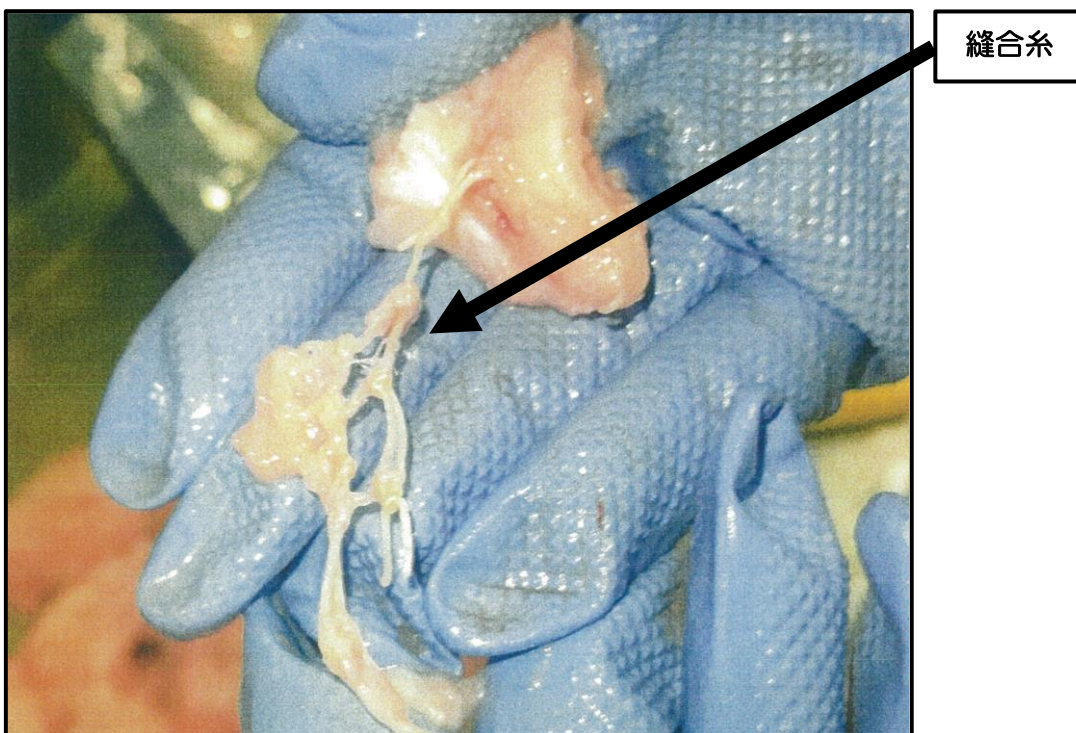
電話：019-692-5711

担当：家畜市場課 藤井

(事例 1) 臍部より発見された異物



(事例 2) 臍部より発見された異物



(農家への報告書例) 下記は一例です。様式にはこだわりません。

### 手術内容報告書

手術月日	2022年 X月 〇日	個体識別番	〇〇〇〇-XXXXX
担当獣医師	(住所・所属) 〇〇市 △△町 〇〇-〇 (氏名) △△ □〇		
(説明事項)	2022年X月〇日 膈ヘルニア手術のため 縫合糸残留		
販売の際には申告してください。			